



株式会社 **CE** ホールディングス



証券コード
4320

2020年9月期 決算説明会資料

2020年 11月

目次



グループ概要

2020年9月期ハイライト

医療及び医療情報システム市場の動向

年度計画、中期計画

業績向上に向けて

株式情報

目次



グループ概要

2020年9月期ハイライト

医療及び医療情報システム市場の動向

年度計画、中期計画

業績向上に向けて

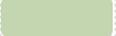
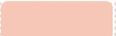
株式情報

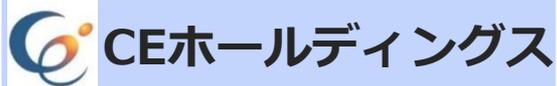
会社概要 (2020年9月末現在)



商号	株式会社 C Eホールディングス
設立	1996年3月25日
資本金	11億6,541万円
所在地	札幌市白石区平和通15丁目北1番21号
代表者	代表取締役社長 杉本 恵昭
上場市場	東証一部、札証 (証券コード: 4320)
主な株主	日本電気株式会社、日本事務器株式会社、 日本生命保険相互会社、 株式会社北洋銀行、株式会社北海道銀行
従業員数	529名 (連結)
連結子会社	株式会社シーエスアイ (100.0%) 株式会社Mocosuku (57.5%) 株式会社エムシーエス (51.0%) 株式会社マイクロン (70.6%) 株式会社エムフロンティア (マイクロン100%) 株式会社システム情報パートナー (100.0%) 株式会社ディージェーワールド (100.0%)
() 内は持株比率	
持分法適用関連会社	株式会社駅探 (東京証券取引所マザーズ上場)

当社グループの概要

※  は連結子会社
 ※  は持分法適用関連会社



CEホールディングス

略称 **CEHD**
 設立 **1996年3月**
 持株会社 **東証一部・札証**



シーエスアイ
 (略称：CSI)

持株比率：100.0%
 電子カルテシステム「MI・RA・Is」を中心とした医療システム開発と受託システム開発



エムシーエス
 (略称：MCS)

持株比率：51.0%
 看護業務システムの開発・導入・運用保守をトータルサポート



マイクロン

持株比率：70.6%
 イメージング技術を活用した効率的な臨床開発支援



ムフロンティア

持株比率：マイクロン 100.0%
 臨床開発に必要な、高度な人材の派遣



システム情報パートナー
 (略称：SIP)

持株比率：100.0%
 医療情報システムの開発・導入・運用保守をトータルサポート



ディージェーワールド
 (略称：DJW)

持株比率：100.0%
 医療情報システムの総合的な提案と支援、最新インターネット型デジタルサイネージソリューション



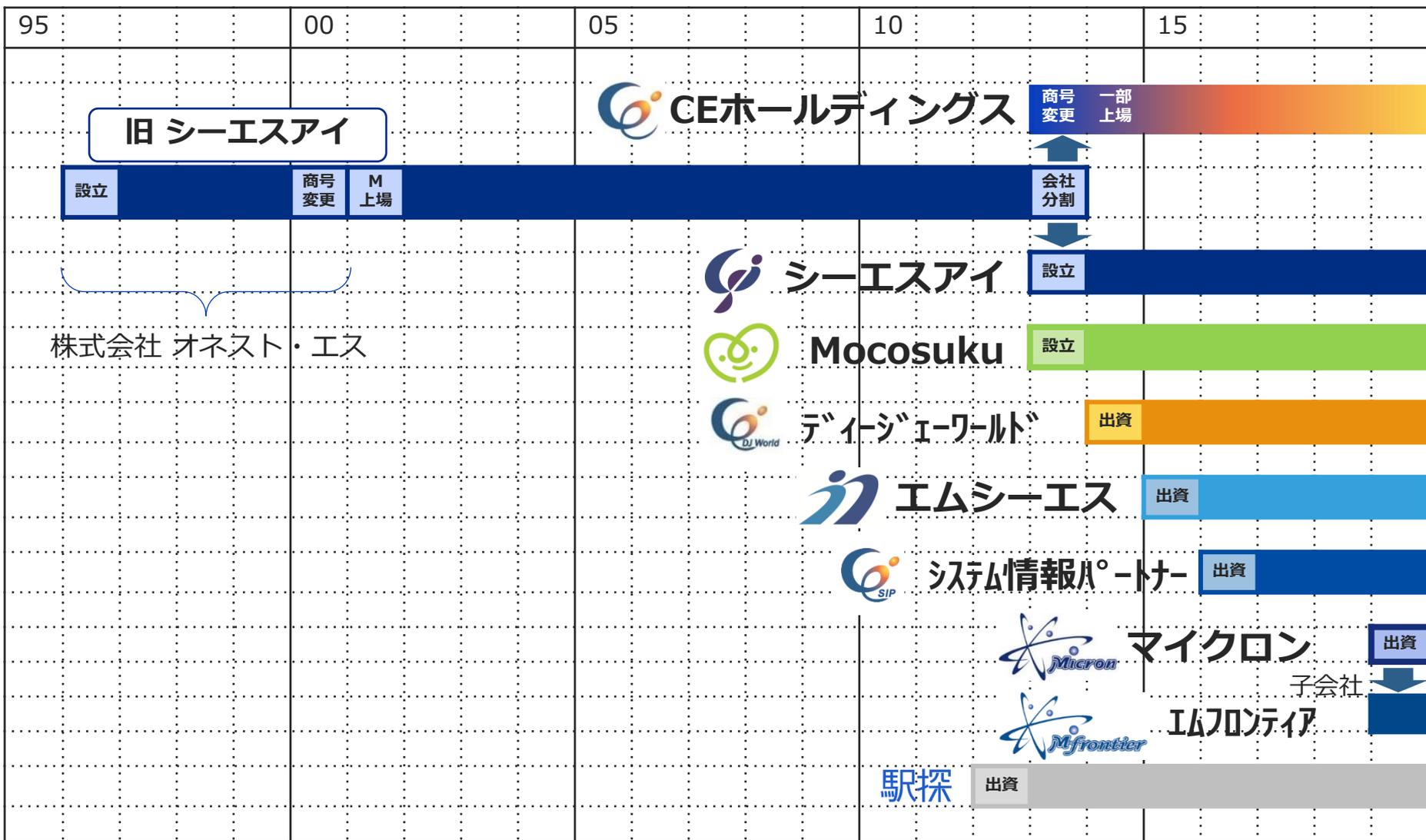
Mocosuku

持株比率：57.5%
 ヘルプサイト『Mocosuku』の企画・運営とWebマーケティング・プロモーション

駅探

持株比率 **30.85%**
 資本・業務提携 **2012年5月**
 東証マザーズ

グループの沿革



事業内容



セグメント	主要な製品・サービス		提供会社
医療 ソリューション 事業	電子カルテシステム「MI・RA・Isシリーズ」	MI・RA・Is/AZ 等 (介護機能：オプション)	CSI、MCS
	地域医療連携システム	ID-Link	CSI
	医療機関・患者のコミュニケーションサービス	かかりん	CSI
	医療情報システムの受託開発		CSI、SIP、DJW
	医療情報システムの運用管理（病院内のシステム・ネットワークの運用管理等）		SIP
	医療機関向け料金後払いシステム		SIP
	医療品・医療機器の臨床開発受託		Micron
その他	ヘルスケア関連情報提供、マーケティング支援	Mocosuku	Mocosuku
	ヘルスケアコンテンツの執筆・監修、健康管理業務の受託		Mocosuku
	デジタルサイネージ		DJW

事業内容 (電子カルテシステム「MI・RA・Is シリーズ」)



MI・RA・Is/AZ ミライズ エージー

MI・RA・Is/AZ	一般病院向け
MI・RA・Is/AZ Mix	療養病床や精神病床を有する病院向け
MI・RA・Is/AZ Lite	小規模病院向け
MI・RA・Is/AZ For Cloud	クラウド版

+

介護機能
(オプション)

事業内容 (電子カルテシステム「MI・RA・Is シリーズ」)



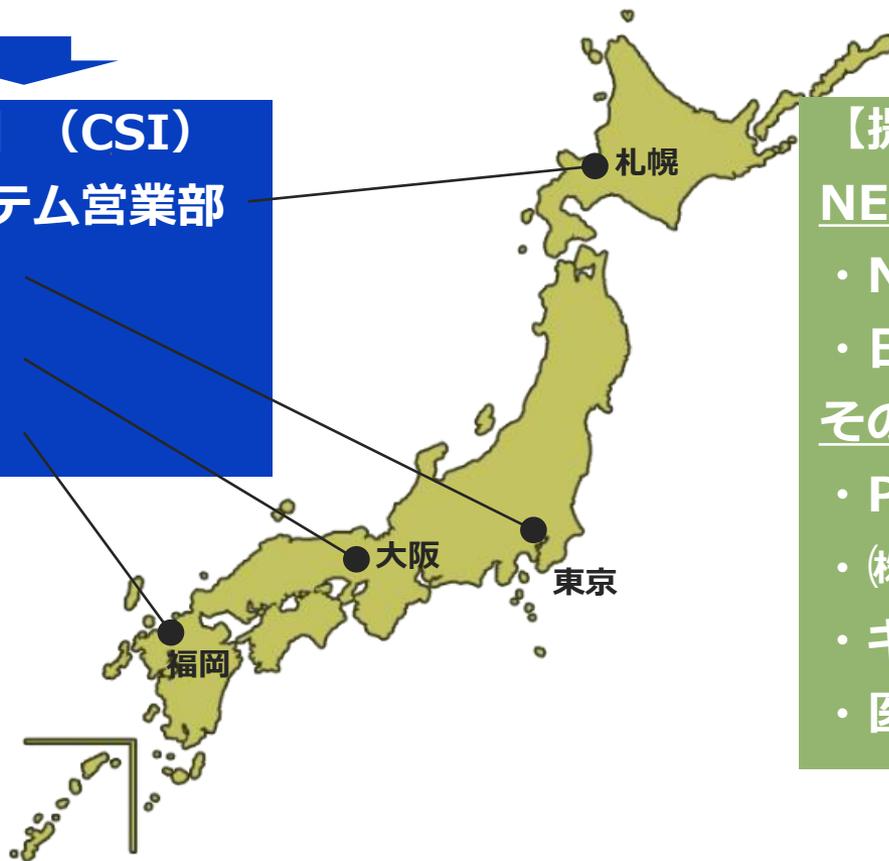
電子カルテシステム (CSI) の販売体制

直接販売のほか、提携先との連携により、全国に販売体制を構築



【直販拠点】 (CSI)

- ・ 本社システム営業部
- ・ 東京支社
- ・ 大阪支店
- ・ 九州支店



【提携先】

NEC系販社(MegaOakグループ)

- ・ NEC、NECグループ各社
- ・ 日本事務器(株) 等

その他販社

- ・ PHC(株)
- ・ (株)NTTデータ
- ・ キヤノンメディカルシステムズ(株)
- ・ 医療系コンサル会社 等

目次



グループ概要

2020年9月期ハイライト

医療及び医療情報システム市場の動向

年度計画、中期計画

業績向上に向けて

株式情報

2020年9月期 連結業績



■ 売上高は前期を下回る (△9.0%)

- M&Aによる新規連結事業による増加
- 既存事業は新型コロナウイルスの影響で、複数の案件で受注遅れや延期

■ 利益面は大幅に減少 (△77.2%)

- 売上減に伴う売上総利益減少
- (株)駅探に係る持分法による投資損失計上
- (株)システム情報パートナーに係るのれんの一部償却による特別損失計上

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
※当期純利益は、親会社に帰属する当期純利益を表示しております。

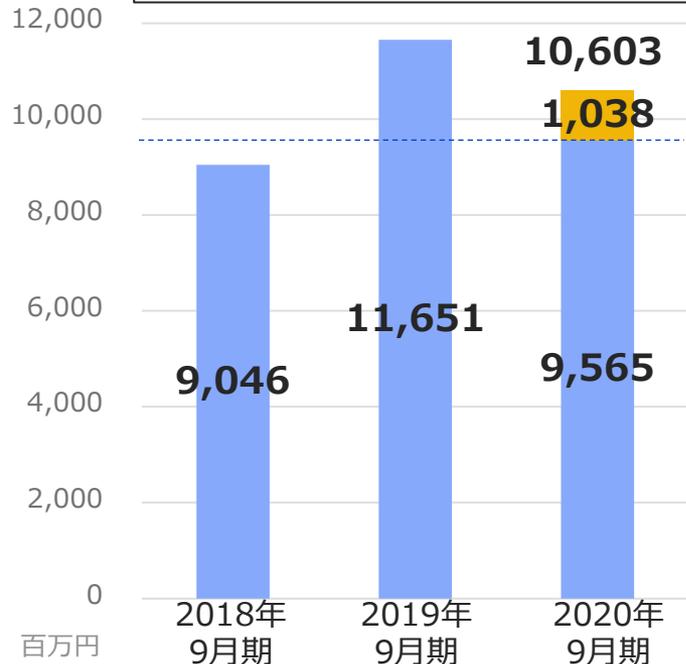
【参考】既存事業、M&Aによる新規連結事業の売上高及び受注の状況

■ 既存事業

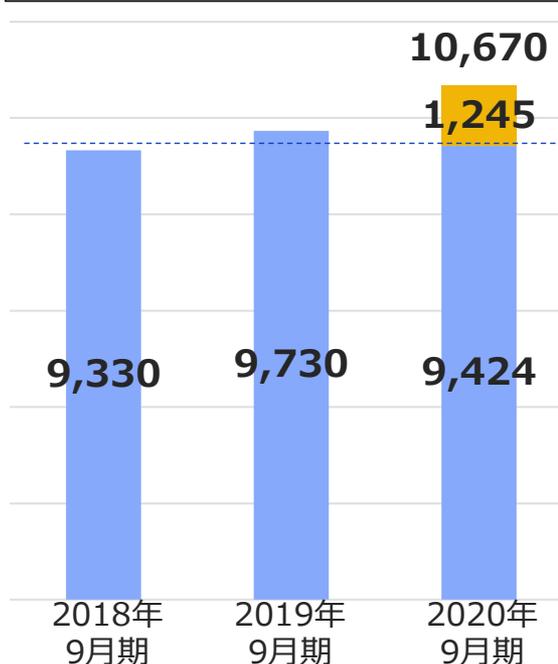
■ M&Aによる新規連結事業

- 第2四半期連結累計期間より、株式会社マイクロン及び株式会社エムフロンティアを連結対象に追加
- 第3四半期連結累計期間より、株式会社とらうべの事業を会社分割により承継

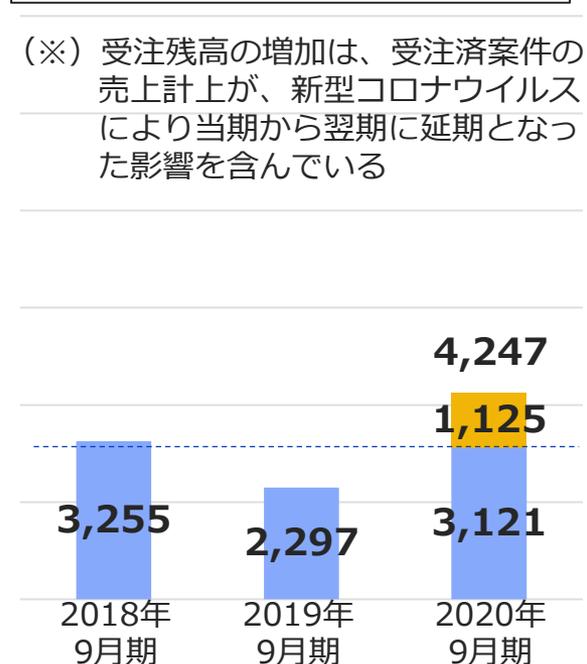
売上高



受注高



受注残高



(※) 受注残高の増加は、受注済案件の売上計上が、新型コロナウイルスにより当期から翌期に延期となった影響を含んでいる

新型コロナウイルスの影響を受けたものの、前々期より良好な水準。

既存事業でも過去2期の平均と同水準もしくはそれ以上。これに新規連結事業が加わったことから、受注高・受注残高ともに過去最高を更新。(※)

損益計算書（連結）



単位：百万円	2019年9月期 実績	2020年9月期		前期比 増減率	修正計画比 増減率
		修正計画 (2020年7月31日)	実績		
売上高	11,651	10,650	10,603	△ 9.0%	△ 0.4%
営業利益	961	500	547	△ 43.1%	+ 9.4%
経常利益	984	410	452	△ 54.0%	+ 10.4%
当期純利益	531	180	121	△ 77.2%	△ 32.5%

- 売上高は、M & Aによる新規連結事業による増加があったものの、医療情報システムの既存事業は、当第3四半期以降、新型コロナウイルスの拡大に伴い、医療機関を中心としたお客様への営業活動やシステム導入作業が一部制約を受け、当期に売上計上を想定していた複数の案件が受注遅れや延期となったことから、前期を下回る結果となった。
- 営業利益は、既存事業の売上減少に伴う利益減少に加え、新規連結事業も新型コロナウイルスの影響により利益貢献がなかったことなどから、前期比で減少。
経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、上記に加え、株式会社駅探に係る持分法による投資損失を計上したこと、及び当社の連結子会社である株式会社システム情報パートナーに係るのれんの一部を一括償却し特別損失に計上したことなどから、それぞれ前期比で大幅に減少。

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 ※ 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を表示しております。

セグメント別実績（連結）



単位：百万円		2019年9月期 実績	2020年9月期 実績	前期比 増減率
医療 ソリューション事業	売上高	11,578	10,504	△ 9.3%
	セグメント利益	1,011	575	△ 43.1%
その他	売上高	73	99	+ 35.9%
	セグメント利益	△ 31	△ 10	—

- ・医薬品・医療機器の臨床開発受託を主たる事業とする株式会社マイクロンと同子会社である株式会社エムフロンティアが連結子会社となったことに伴い、第2四半期連結累計期間より、「医療システム事業」としていた報告セグメントを「医療ソリューション事業」に変更しております。
- ・記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント別受注状況（連結）



単位：百万円	2019年9月期 実績		2020年9月期 実績		前期比 増減率	
	受注高	受注 残高	受注高	受注 残高	受注高	受注 残高
医療ソリューション事業	9,674	2,291	10,617	4,239	+ 9.7%	+ 85.0%
その他	55	5	52	8	△ 4.4%	+ 38.6%
合 計	9,730	2,297	10,670	4,247	+ 9.7%	+ 84.9%

**受注高・受注残高ともに
過去最高を更新（※）**

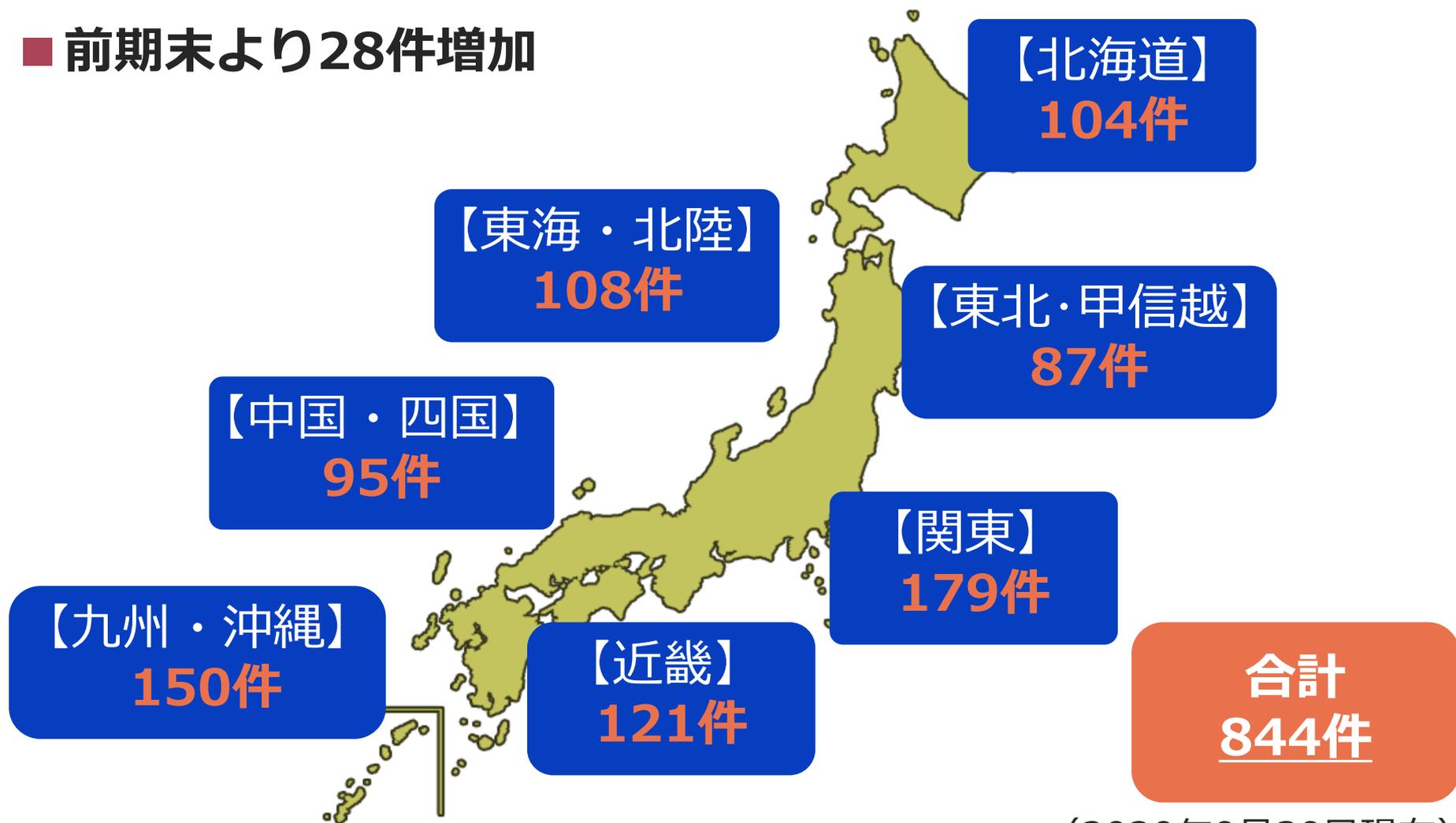
（※）受注残高の増加は、受注済案件の売上計上が、新型コロナウイルスにより当期から翌期に延期となった影響を含んでいる

- 医薬品・医療機器の臨床開発受託を主たる事業とする株式会社マイクロンと同子会社である株式会社エムフロンティアが連結子会社となったことに伴い、第2四半期連結累計期間より、「医療システム事業」としていた報告セグメントを「医療ソリューション事業」に変更しております。
- 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

MI・RA・Isシリーズ導入実績



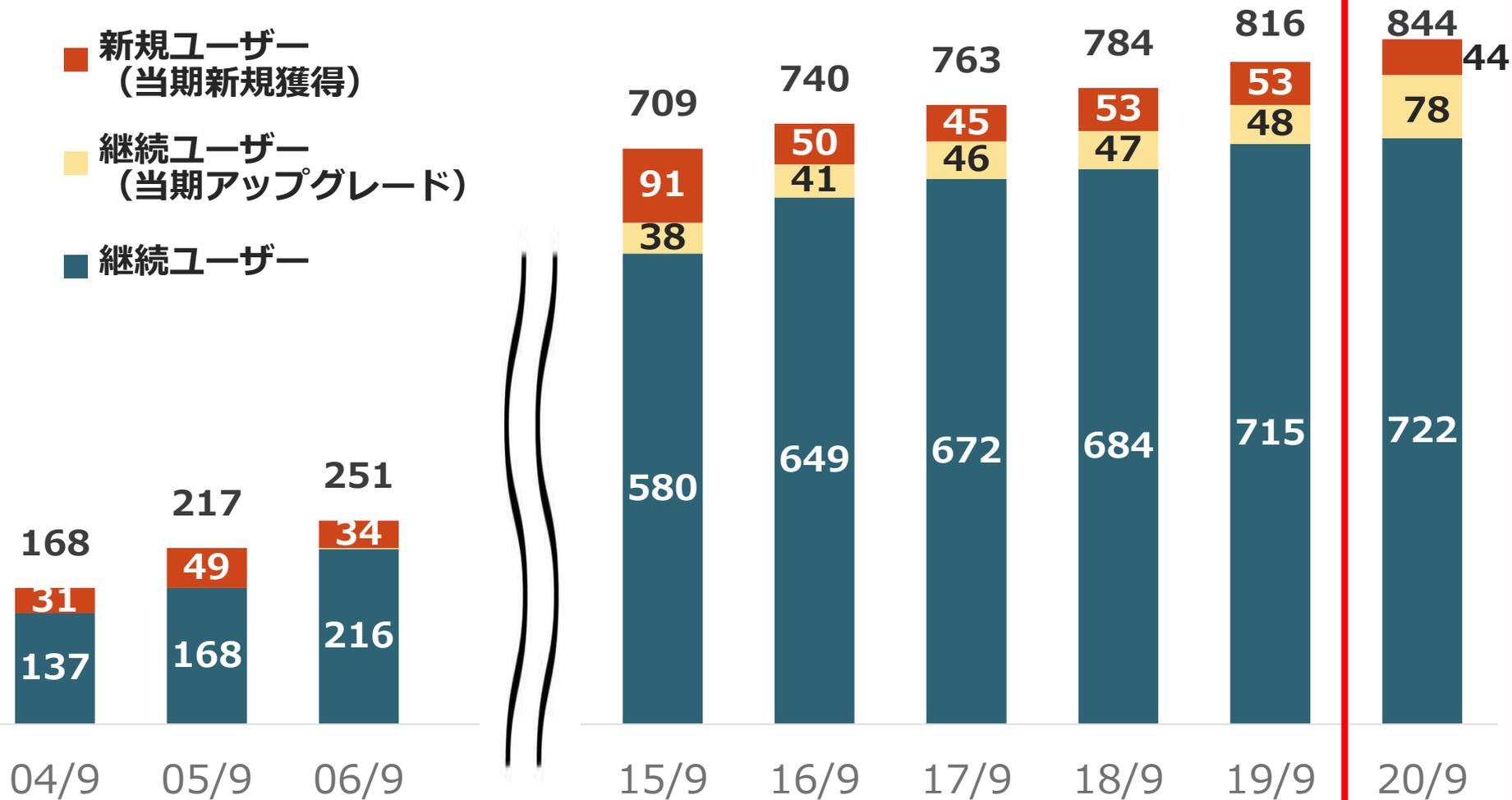
■ 前期末より28件増加



(2020年9月30日現在)

MI・RA・Isシリーズ導入数推移

- 新規ユーザー
(当期新規獲得)
- 継続ユーザー
(当期アップグレード)
- 継続ユーザー



Mocosukuにおける「とらうべ」事業の承継

Mocosukuが、「株式会社とらうべ」の全事業
(但し、介護相談事業及び施設紹介事業を除く。)
を会社分割(吸収分割)により承継



Mocosukuにはなかった知見や事業資産を保有

- ・ 看護師・助産師・保健師・管理栄養士などの医療資格者や専門家が在籍
- ・ 監修医の幅広いネットワークなどを保有

承継対象事業

- ヘルスケアコンテンツの執筆や監修
- 企業からの従業員に対する健康相談窓口業務の受託
- 健康保険組合からの特定保健指導業務の受託
- コンタクトレス等の医療機器の顧客対応窓口業務の受託
- 企業内での健康や栄養に関する社内研修 等

事業の承継の目的

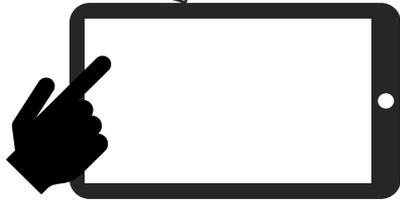
- Mocosuku社内で良質なコンテンツ制作を効率的に行うことが可能
- Mocosukuが有している企画力と営業力を活用することによって、とらうべから承継する事業の維持・拡大や、その知見・事業資産を活用した新たな展開が可能

「かかりん DX問診」の開発・販売

電子カルテシステム「MI・RA・Isシリーズ」と連携可能なWebの問診サービスを開発。2020年暮れに販売開始予定。

待合室

・どのような症状？
・いつから？
・…？



電子カルテへ
即座に連携



診察室

患者
メリット

- ・分かりやすい入力方法
- ・専門用語なし

- ・電子化の手間なし
- ・専門用語に自動変換

医師
メリット

- 「MI・RA・Isシリーズ」と安価かつ迅速にシームレスな連携が可能 ※1
- 他社製電子カルテシステムとの連携も可能 ※2
- 将来的に、患者が自宅で入力可能な「院外問診」や、予約も同時に行えるサービスへの展開を予定

※1 2020年11月末リリース予定「MI・RA・Is/AZ」新バージョン以降
※2 連携のため、個別対応が必要

目次



グループ概要

2020年9月期ハイライト

医療及び医療情報システム市場の動向

年度計画、中期計画

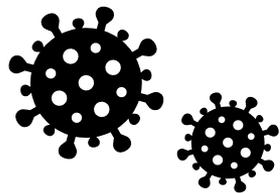
業績向上に向けて

株式情報

医療情報システムの今後の展開

医療の課題

- 高齢化により増大する国民医療費
- 医師・看護師の不足（偏在化）
- 医療従事者の安全確保



新型コロナウイルス対策もあり、解決は喫緊の課題

政府の対策

□ デジタル強靱化社会の実現

- 医療データやAIの利活用を推進し、疾病予防に役立てる
- オンライン診療を推進し、医療従事者の安全や僻地での医療に役立てる
- マイナンバーカードを活用し、遠隔での手続を可能にする

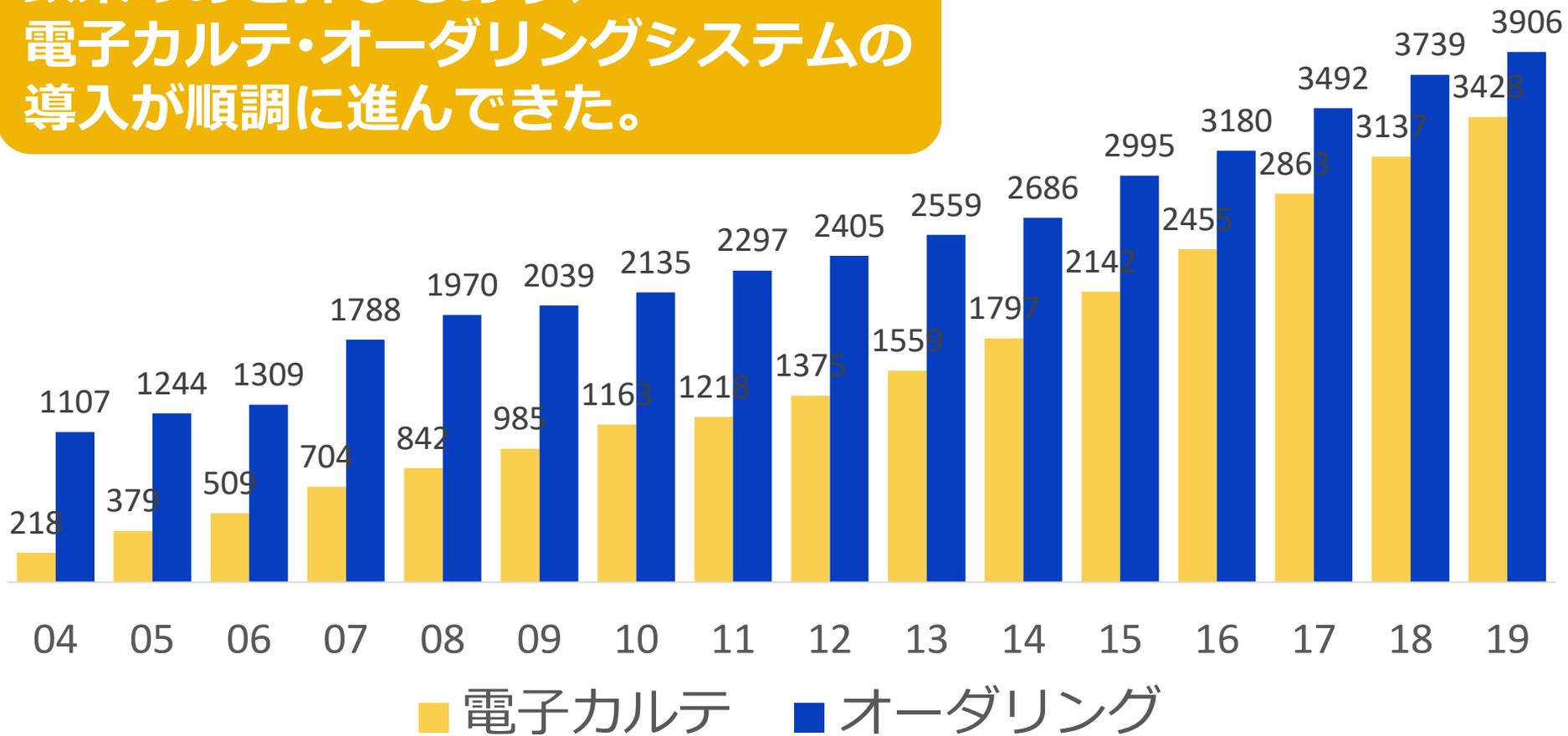
**医療分野のDX化が進み、医療データのハブとなる
電子カルテシステムや医療情報システムは、ますます重要に**

2020年7月17日 内閣府「経済財政運営と改革の基本方針2020（骨太の方針2020）」
2020年7月17日 首相官邸「世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」

国内病院での電子カルテ・オーダリングシステム導入状況



政策のあと押しもあり、
電子カルテ・オーダリングシステムの
導入が順調に進んできた。



※ 全病院導入状況

※ 「医療機器システム白書2020」データから当社集計

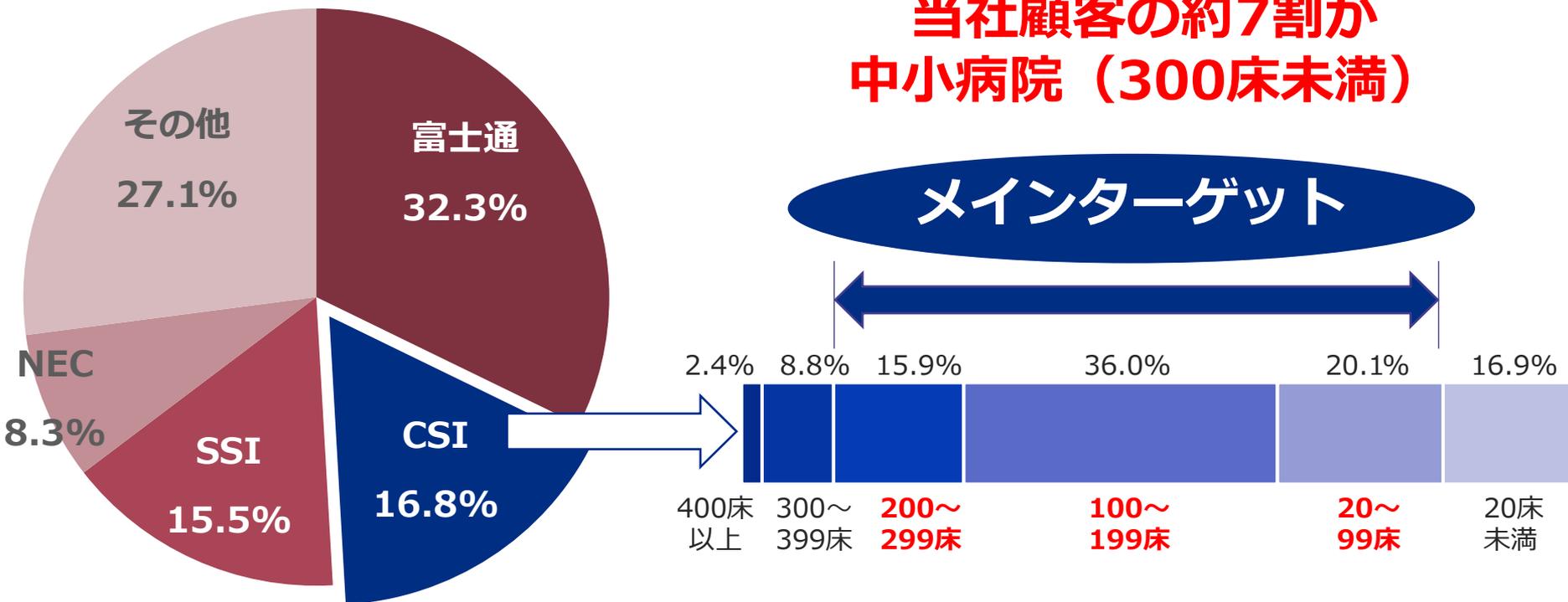
電子カルテシステム シェア・当社の特色

導入件数 国内第2位

中小病院に特に強み

当社顧客の約7割が
中小病院（300床未満）

メインターゲット



※ 「医療機器システム白書2020」データから当社集計

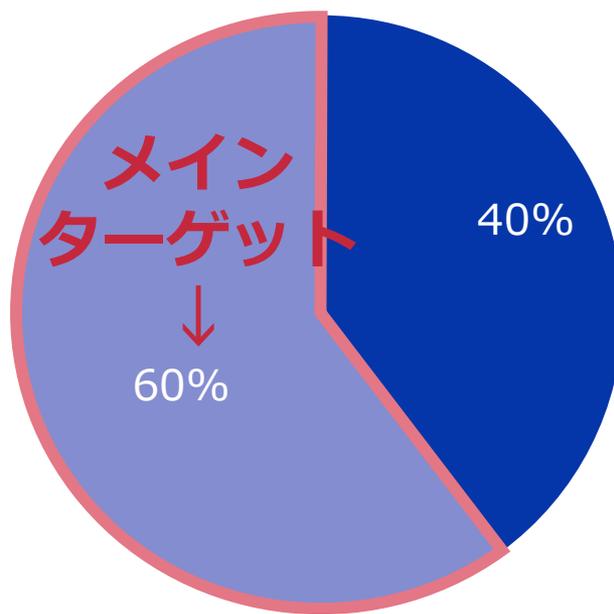
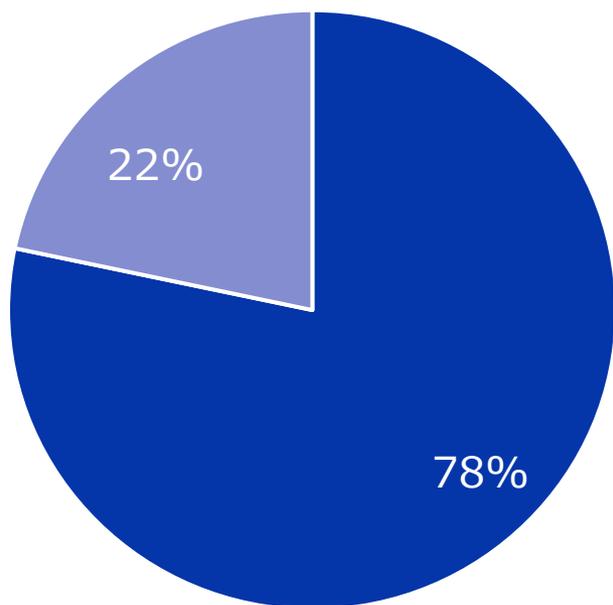
電子カルテシステム導入率



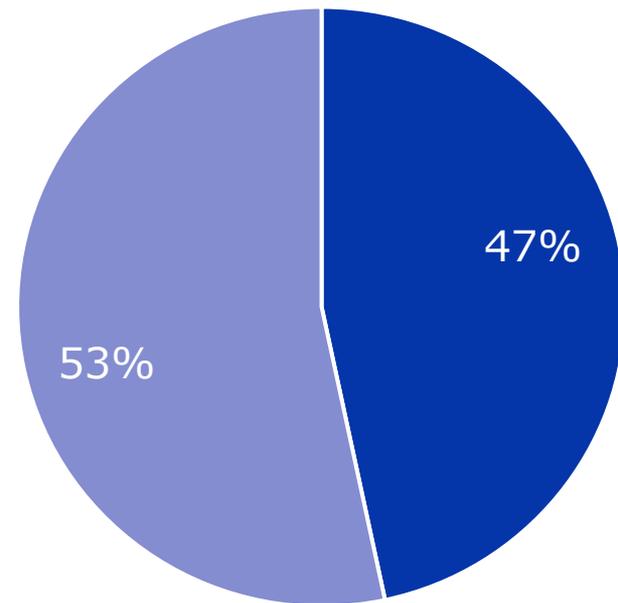
大病院
(300床以上)

中小病院
(300床未満)

合計

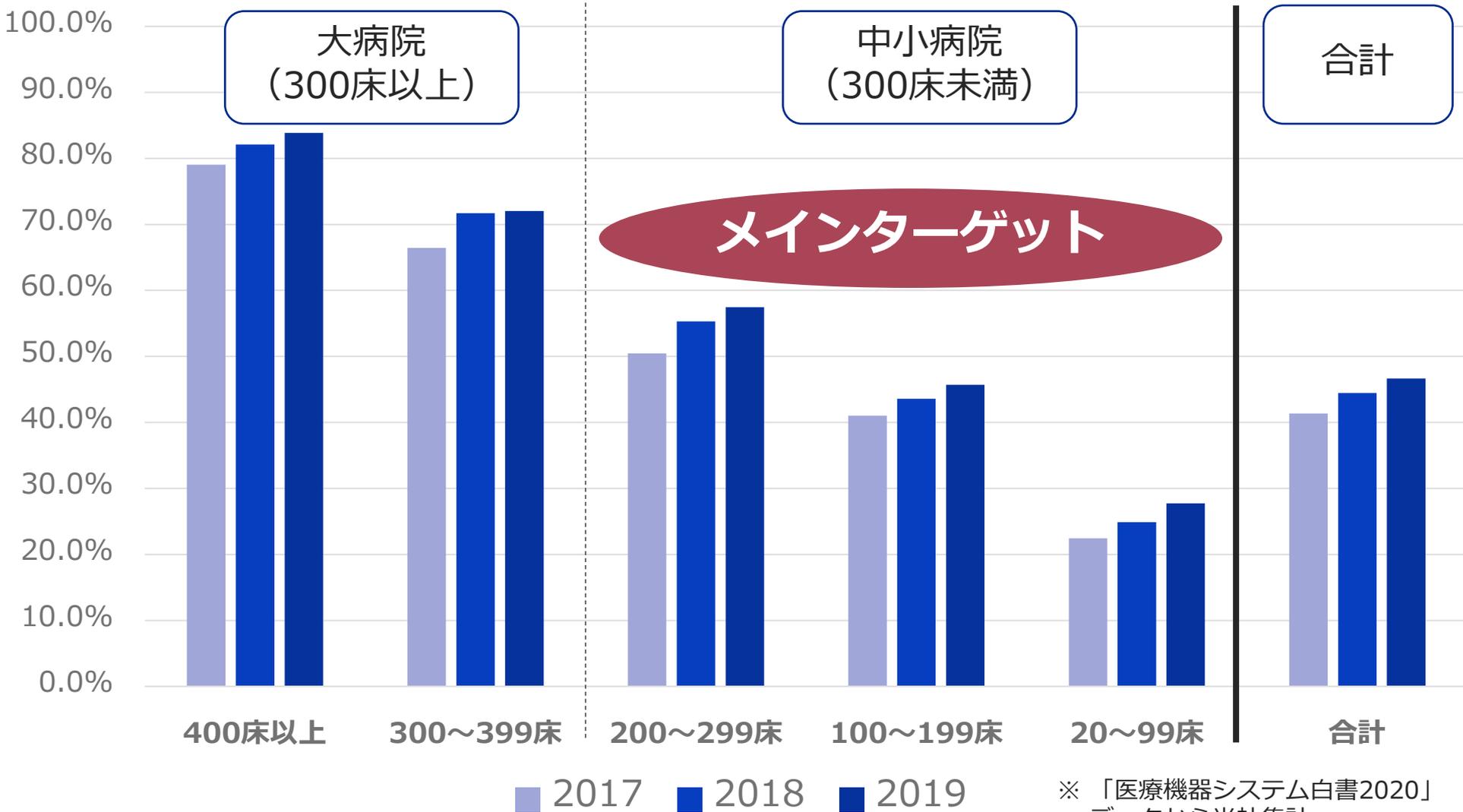


■ 導入 ■ 未導入



※ 「医療機器システム白書2020」
データから当社集計

電子カルテシステム導入率の推移



※ 「医療機器システム白書2020」データから当社集計

目次



グループ概要

2020年9月期ハイライト

医療及び医療情報システム市場の動向

年度計画、中期計画

業績向上に向けて

株式情報

新型コロナウイルス感染症の影響について

2020年9月期 業績に与えた影響

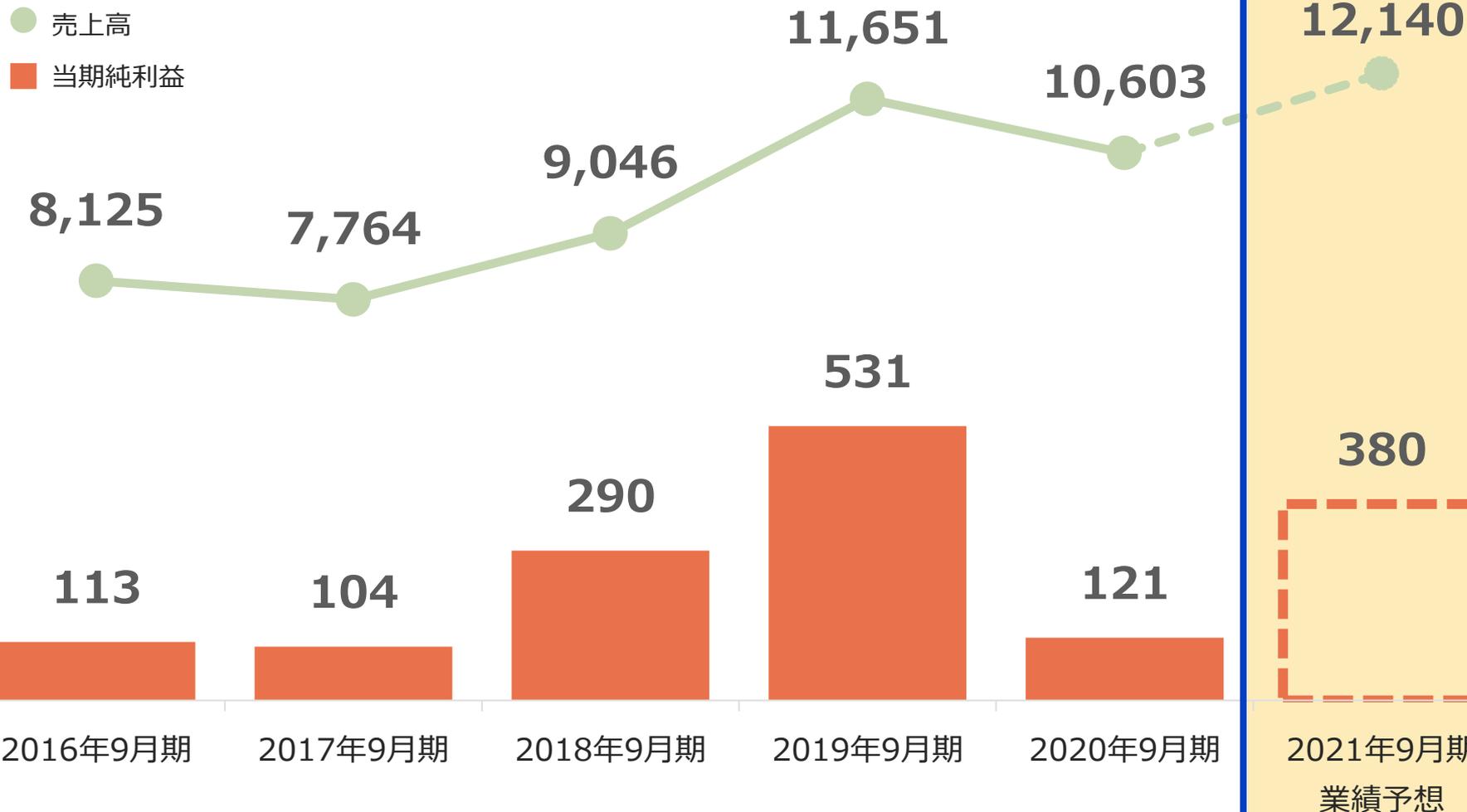
- 当社グループの医療機関を中心としたお客様への営業活動やシステム導入作業が一部制約を受け、当期に売上計上を想定していた複数の案件が受注遅れや延期となった。

2021年9月期 通期業績への影響

※ 例示であり、これに限るものではありません。

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大及びその長期化により、現在発生しているあるいは発生のおそれがある事象として以下のようなものがある。
 - 医療情報システムを受注した病院において、新型コロナウイルスの対策として病院関係者以外の施設内への立ち入り制限が行われる、あるいは、病院内での感染発生や当社グループもしくは販売パートナーの担当社員等が感染した場合、導入作業が中断し、納品が遅れることにより、売上計上が遅延する。
 - 医療機関が新型コロナウイルスの対策を優先することにより、当社グループまたは販売パートナーにおける営業活動が長期停滞した場合、受注状況が悪化する。
 - 支援を受注した医薬品等の臨床開発プロジェクトにおいて、予定された症例数（データ）を集められず、プロジェクトの進捗が遅延し、売上計上が延期する。

2021年9月期 業績見通し



2021年9月期

業績見通し



単位：百万円	2020年9月期 実績	2021年9月期 計画	前期比 増減率
売上高	11,603	12,140	+ 14.5%
営業利益	547	755	+ 38.0%
経常利益	452	710	+ 56.8%
当期純利益	121	380	+ 212.9%

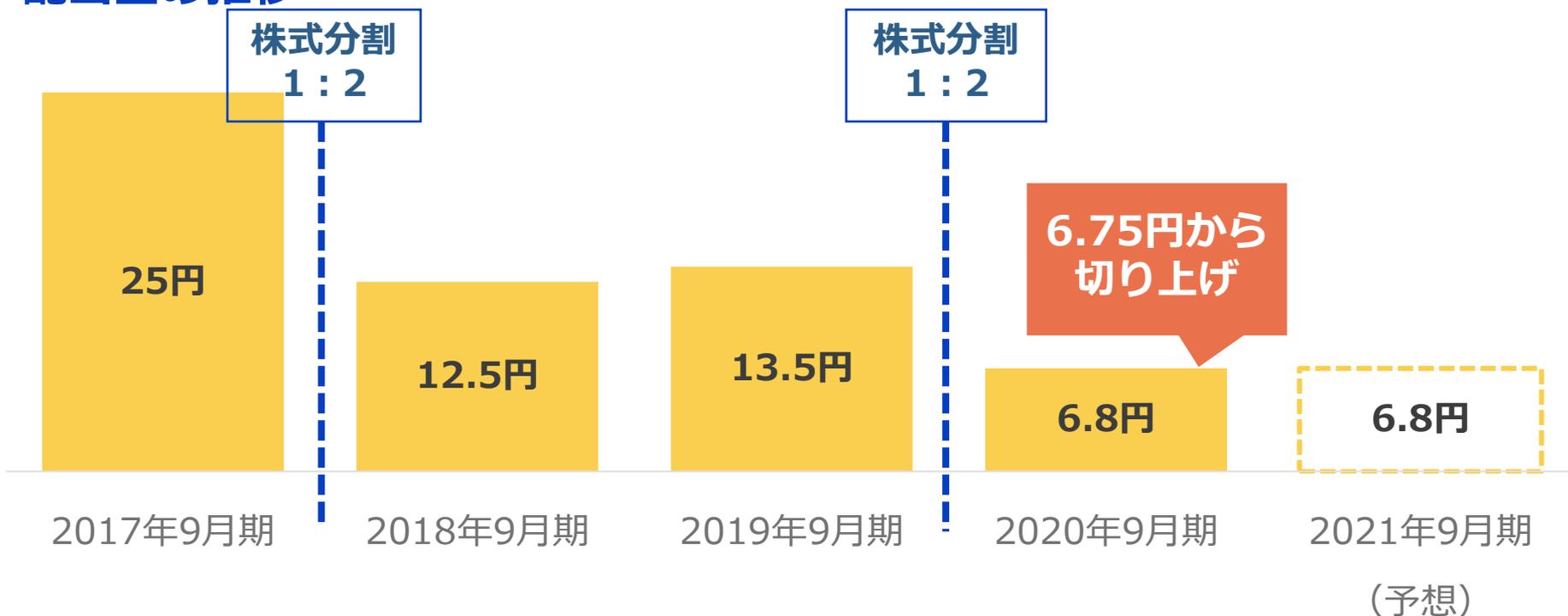
剰余金配当に関して

定時株主総会
付議予定

【利益配分に関する基本方針】

- 株主尊重を第一義として考え、利益配分については、経営基盤の一層の強化と事業拡大に必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への利益還元を継続して実施していく。

配当金の推移



中期目標（2023年9月期まで）



3年以内に

MI・RA・IS
ユーザー数

1,000ユーザー達成

〔2020年9月末
844ユーザー〕

営業利益率

10%達成

〔2020年9月期
5.2%〕

時価総額

※
200億円達成（M&A含む）

〔2020年9月末
101億円〕

※ 安定的に100億円以上となることを達成した上で

目次



グループ概要

2020年9月期ハイライト

医療及び医療情報システム市場の動向

年度計画、中期計画

業績向上に向けて

株式情報

医療情報システム開発・販売



短期

時間軸

中長期

□ 電子カルテ等の医療情報システム導入コスト低減【CSI】

- 業務効率向上のため、リモート作業環境を充実（ユーザー保守用VPN回線敷設）
- コロナ禍の長期化も視野に入れ、オンラインでの導入打ち合わせ（WEB会議）を推進

□ 新たな収益モデル（継続収入ビジネス）の構築・推進

- **医療費後払いシステム**【SIP（販売：グローリー株式会社）】
「待たずにラク〜だ」（グローリー社Webサイト <https://www.glory.co.jp/rakuda/>)
 - 売上は、導入時費用及び月額保守料に加え、サービス利用料を計上する新モデル
 - 大学病院・公立病院等を中心に14病院で稼働（9月末）。利用登録者数7万人、月間決済処理件数3万件を突破。新型コロナウイルス対応のソリューションとして着目され、商談が活発化。
- **かかりん DX問診**【CSI】
 - 月額課金Webサービス（2020年暮れから販売開始）

□ 中小規模病院向け製品の投入（検討中）【CSI】

- 中規模向けクラウド版電子カルテの低価格メニュー提供
- 小規模向け低価格製品の開発

□ 医療データ活用による診療支援（研究開発中）【CSI】

- 問診データや検査データ等を構造化し、AI解析することで、新たな診療支援サービス開発や、病院ワークフローの改善につなげる

医薬品・医療機器の臨床開発支援



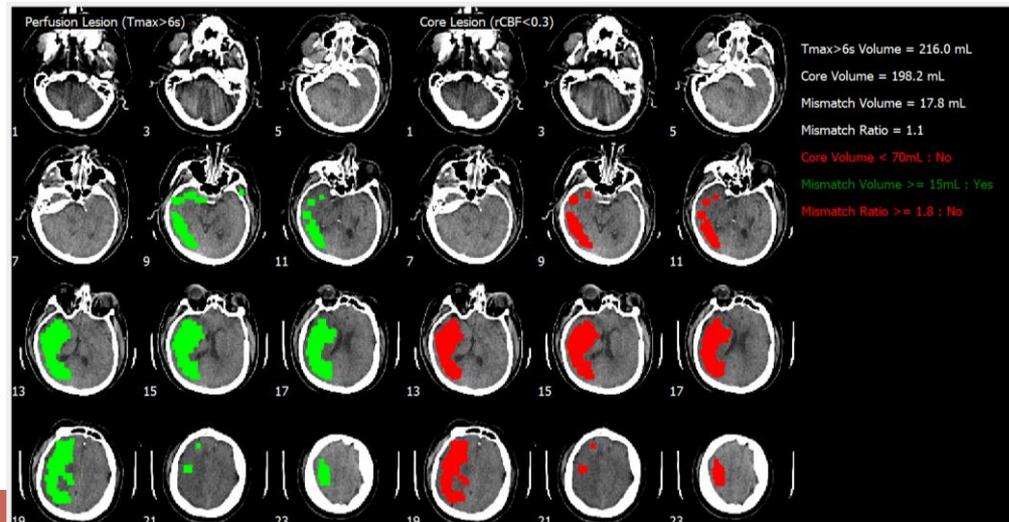
□ グローバルCROとの提携を活用・推進【マイクロン】

- 前期実績
 - Proswell Medical Company（本社：北京）との戦略的業務提携
 - ACROS Global Alliance（本部：シンガポール）加盟
- 海外発・国内実施の臨床試験モニタリング業務を取り込み、稼働率を向上
- 上記業務とセットで、マイクロンの強みである画像解析支援業務を受託

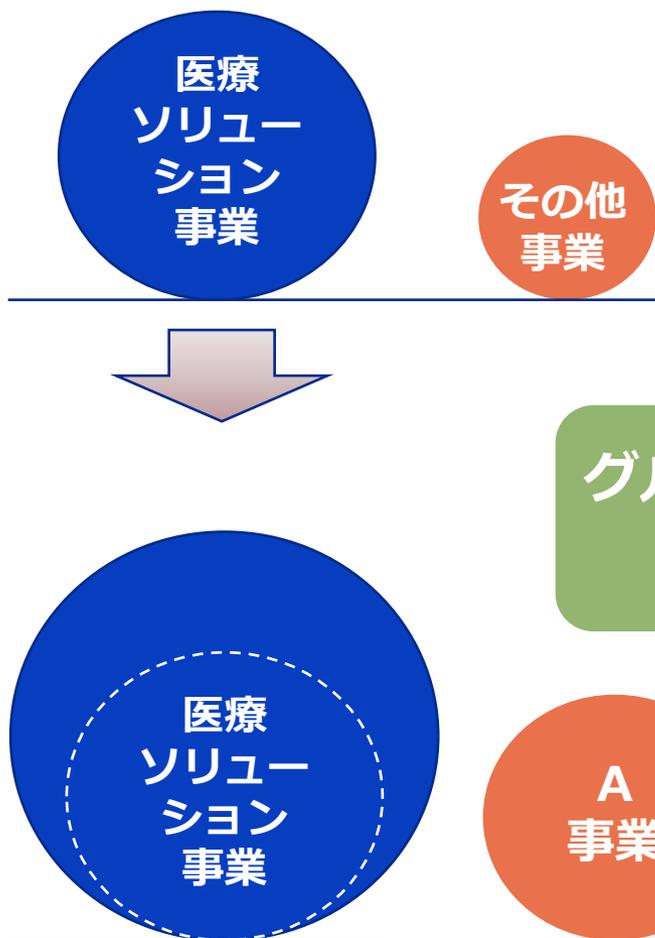
□ 医療用画像解析ソフトウェアの拡販【マイクロン】

- 前期実績
 - 脳画像解析プログラム **PMAneo** 販売開始（医療機器認証を取得し、医療機関に販売）
- PMAneoの拡販
 - 販路・販売体制の拡充
 - 保険収載を目指した学会等との連携
 - APACでの認証取得

PMAneoによる
CT画像の解析例



グループでの事業領域拡大



医療・介護・福祉・保健に関わる
情報システム や 情報サービス を
中心に、事業領域を拡大

グループ内での事業の育成・立ち上げに加え、
提携やM&Aに積極的に取り組む

A
事業

B
事業

n
事業

目次



グループ概要

2020年9月期ハイライト

医療及び医療情報システム市場の動向

年度計画、中期計画

業績向上に向けて

株式情報

株式情報 (2020年9月30日現在)



証券コード	4320
上場市場	東京証券取引所市場第一部、札幌証券取引所
株式の売買単位	100株
発行可能株式総数	39,932,000株
発行済株式の総数	14,921,986株 (自己株式 217,014株除く)
株主数	12,401名 (※)
事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月開催
基準日	定時株主総会 毎年9月30日
	期末配当金 毎年9月30日

※ 株主数が前期末の2倍以上に増加 (2019年9月期末 : 5,537名)

新型コロナウイルスの拡大や新政権の政策を受け、医療IT分野への関心が高まったことや、株式分割、株主優待制度等の影響によると考えられる。

大株主上位10名等（2020年9月30日現在）



株主名	持株数	持株比率
MSIP CLIENT SECURITIES	1,480,200	9.92%
光通信株式会社	1,464,400	9.81%
杉本 惠昭	1,410,800	9.45%
日本電気株式会社	1,200,000	8.04%
野村信託銀行株式会社 （投信口）	623,800	4.18%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	382,700	2.56%
日本事務器株式会社	283,200	1.90%
株式会社日本カストディ銀行 （信託口5）	228,900	1.53%
株式会社北洋銀行	225,200	1.51%
赤塚 彰	180,000	1.21%

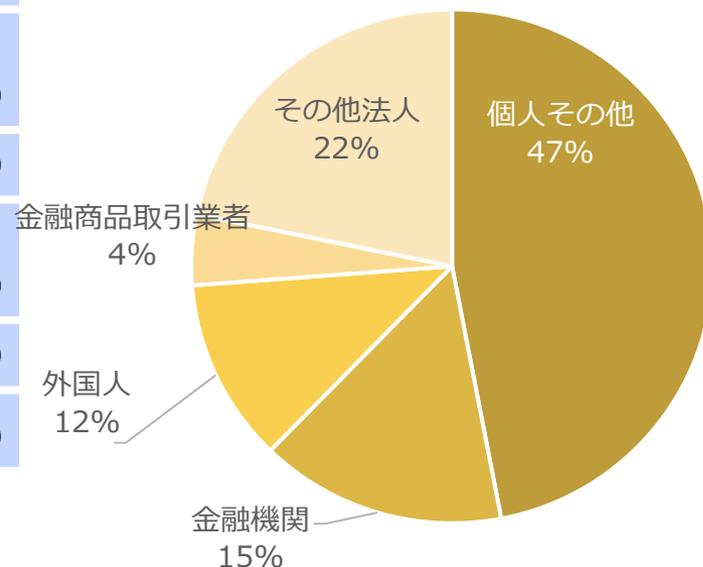
	株数	保有比率
特定株	7,763,314	51.28%
浮動株	3,105,200	20.81%

※特定株:

大株主上位10名+役員持株+自己株式（重複分除く）

※浮動株

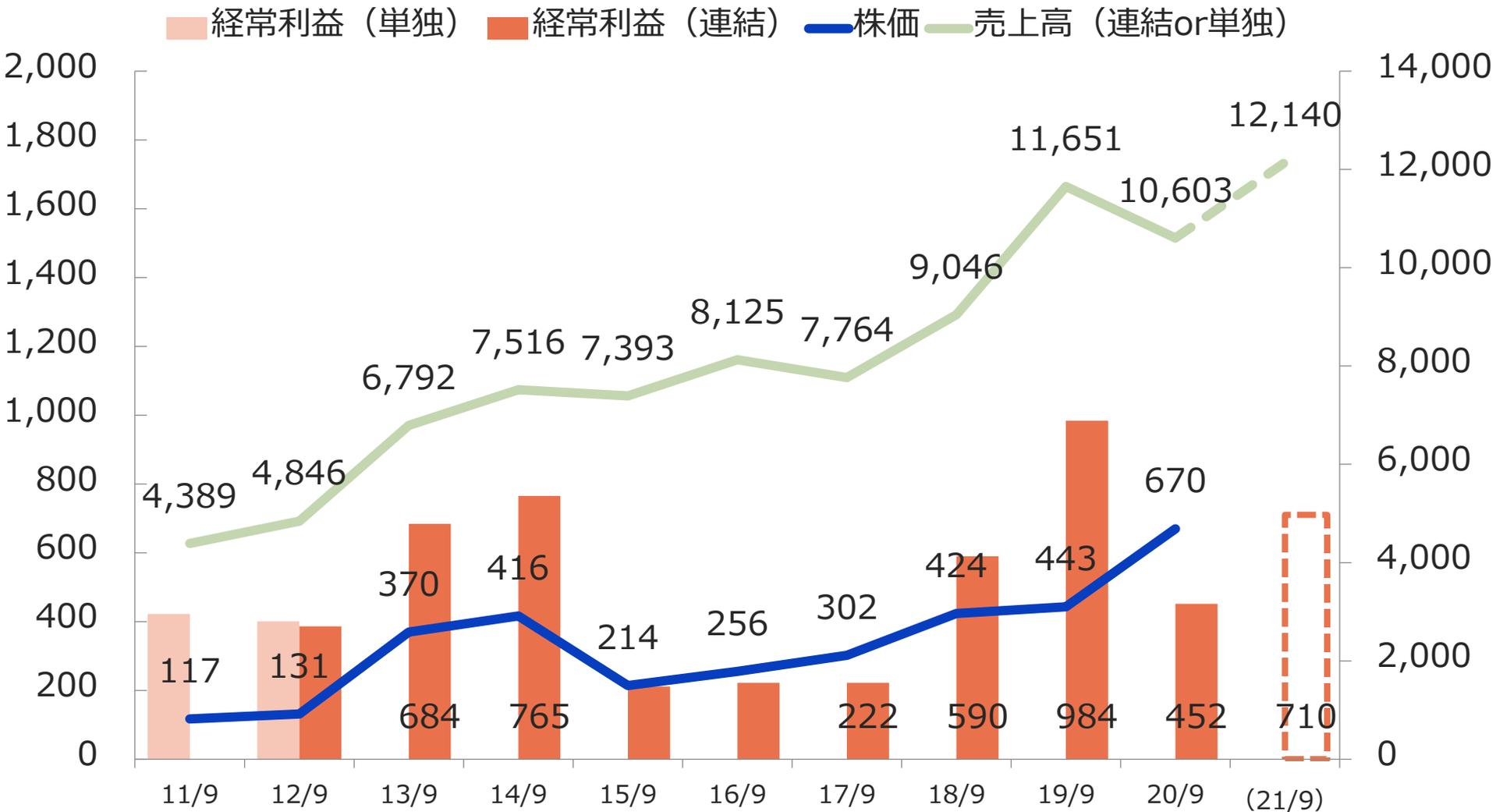
100株以上5,000株未満の株主が保有する株式数



※当社は2020年9月30日時点で自己株式を217,014株保有しております。

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

業績・株価の推移



※株価については、過去の株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の推移を示しております。



2020年9月期 決算説明会資料

本資料に含まれる業界の動向や分析、今後の見通し、施策等は、現時点における情報に基づき判断したものであります。従いまして、将来の業績等につきましては、今後様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

投資を行う際は、利用者ご自身のご判断で行われますようお願いいたします。

(連絡・お問合せ)
株式会社CEホールディングス
経営・事業企画室
TEL.011-861-1600

電子カルテを含む医療情報システムの事業構造

